



ロック・キッズの思い出

会員 島 昭宏 (63 期)

Coffee R&R Break

16歳の時にロックバンドのボーカルとして活動を始め、ジョン・レノンやパンクロックの影響を受け、ロックンロールで社会を変革できると信じて、東京に出てきた。同世代で仲も良かったブルーハーツやレピッシュなんかブレイクする中、自分だけ取り残されていくように感じながらも、インディーズでCDを出



し続け、どうにかやってきた。でも、41歳の誕生日の朝、「25年間ハッピーなロックンロール・ライフだったけど、このままやっても社会は変わらない」と思い立ち、ロック弁護士になった。

そんなわけで、ロックは自分にとって「コーヒーブレイク」って感じじゃないが、この機会にこれまで観た主な海外アーティストを振り返ってみたい。

Let Me Entertain You

～ Let's Dance

まずは、高校2年生のときに観たクイーン。初の外タレ体験ってこともあるんだろうけど、とにかく圧倒された。この時のツアーは、「LIVE KILLERS」っていうライブ盤になっていて、今でもその感動を味わうことができる。クイーンは、その後、武道館と西武

球場で観たけど、毎回感動的で、やっぱり世界のエンターテインメントだったと思う。

上京して1年目の1981年には、クラッシュ、ジャムといったパンクムーブメント末期のバンドを中野サンプラザで観た。クラッシュは、自分が最も影響を受けたバンドで、今でも聴き続けているが、この時期は残念ながら既にいい状態じゃなかった。

1983年に武道館の1列目で観た Serious Moonlight Tour のデビッド・ボウイはスゴかった。すべてがオシャレで、ファンキーで、全体が一つの演劇のように完成されたパフォーマンスだった。

Sunday Bloody Sunday

～ Detroit Rock City

U2は、最初の War Tour から3回目の Zoo TV Tour まで行った。3回とも、何となくチケットが回ってきたんだけど、毎回、気づくと号泣だった。Vo. ボノを中心とするバンドからのメッセージの発信力がハンパじゃなく、まさにリアルそのものを感じた。

ローリングストーンズについては、語ると長くなるので、とりあえず回数だけ記すが、1回目の来日は3日、2回目は2日、3回目は行かず、4回目は1日だけ行った。

あとは、ポール・マッカートニー、ジョージ・ハリスン、ボブ・ディラン、それにエアロスミス、キッス、ロック以外では、BBキング、サラ・ヴォーン、シャーディー…どれも忘れられないなあ。

こうやって思い出してみると、またロック・キッズに戻った気分になるね！